

【平成 29 年 9 月 20 日】

☀️☔️ 川島町立出丸小学校にてお天気防災教室を開催しました！ ☀️☔️

川島町は周囲を荒川や入間川等の河川に囲まれた平坦地のため、古くから幾度かの洪水被害に見舞われてきた地域です。そのため防災に関する知識の普及、向上を図る目的で「防災教室」を開催しました。

なお、今回行った「防災教室」は、減災対策の取り組みとして、また川島町立出丸小学校の閉校記念事業の一つとして実施するものです。



NHKニュース7 気象コーナーを担当している菊池真以キャスターと
荒川上流河川事務所の職員が講師を務めました。



【お天気キャスター 菊池真以さん】



【荒川上流河川事務所 計画課長 米沢拓繁】

《第5校時》

1年生～6年生が集まり、手回し発電装置で竜巻や入道雲を作ったり、民族楽器で雷音や雨音の体験をしたりしました。長蛇の行列ができ、興味の深さを物語っていました。



【体験コーナー】



【ペットボトルで雲を作ってみよう！】



【民族楽器で雨音、雷の音を再現】



【竜巻作れるかな??】



【体験コーナーに並ぶ子供達】

《第6校時》

班ごとにワークショップを行いました。ハザードマップで自宅を確認、非常持出品の選定を行い、避難準備・避難開始・避難完了についてマイタイムラインで時間軸を作成し、防災についての取り組み方を学びました。児童の活発な意見が交換されていました。



【真剣に聞いています】



【ワークショップでの様子】



【避難する時何を持って行くのかな??】



【避難のタイミングを考えます】



【避難所に設置してある備蓄品】

防災には以下『3つのK』があります。

◎被害のイメージ「考える」 ◎周りの様子に注意「気づく」 ◎早めの避難「行動する」

今回の防災教室で事前準備、早期行動の大切さについて学ぶ、良い機会になったことと思われます。



【出丸小学校の皆さん、お疲れ様でした。】